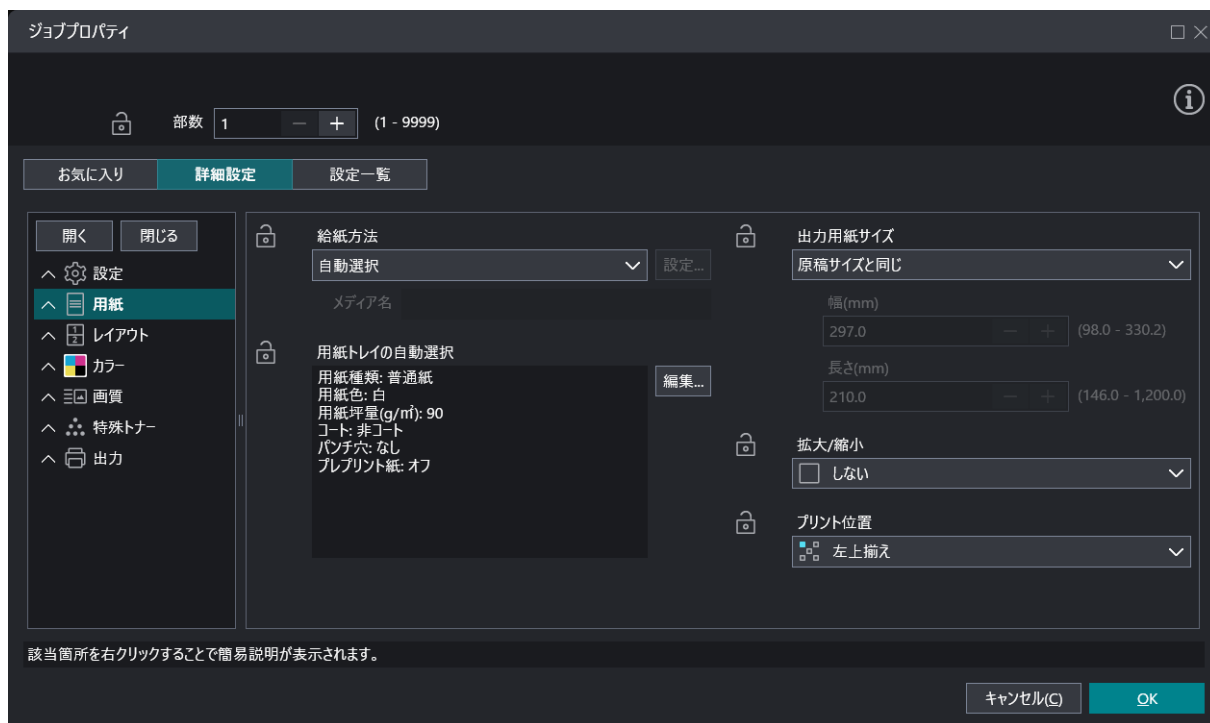


4 用紙

用紙や原稿に関する設定が表示されます。

4.1 挿入 P.31

4.2 特殊ページ P.32



■ 給紙方法

プリントする用紙がセットされている用紙トレイを選択します。

補足

用紙トレイの情報が取得できなかった場合（プリント中にトレイを開閉し、そのあとにプリントを再開した、など）は、前回プリント時の用紙サイズでプリントされます。

■ 自動選択

【用紙トレイの自動選択】で設定されている項目の設定が一致する用紙トレイから給紙されます。

補足

- ・項目の設定が一致する用紙トレイが手差しトレイだけの場合、手差しトレイからプリントされます。
- ・手差しトレイ以外に項目の設定が一致する用紙トレイがある場合、手差しトレイ以外からプリントされ、その用紙トレイの用紙が切れても、手差しトレイには自動で切り替わりません。
- ・選択した用紙サイズのトレイが装着されていない、またはセットされていないとき、用紙サイズが代用されない場合は、RIP処理を中止しエラージョブとして処理されます。

■ メディア名(トレイ)

トレイに割り当てられているメディアが表示されます。

選択したメディアで設定されている、用紙トレイから給紙されます。

■ トレイ

選択した用紙トレイから給紙されます。

■ カスタム

【設定】をクリックして、項目を設定します。

6d 参照

カスタム用紙については、「用紙のカスタム設定」(P.30) を参照してください。

■ メディア

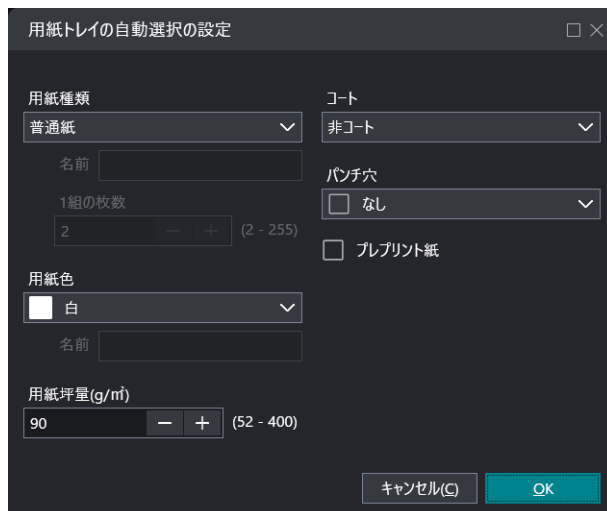
[設定]をクリックして、メディアを選択します。
同じメディアが割り当てられているトレイから給紙されます。

■ 用紙トレイの自動選択

[給紙方法] が [自動選択] の場合、ここで設定されている項目と設定が一致する用紙トレイから給紙されます。

■ 編集

クリックすると、用紙の設定ができます。



用紙トレイの自動選択の設定

用紙種類 普通紙	コート 非コート
名前	パンチ穴 なし
1組の枚数 2 (2 - 255)	☐ プレプリント紙
用紙色 白	
名前	
用紙坪量(g/m) 90 (52 - 400)	

キャンセル(C) OK

補足

あらかじめ、プリンター本体の操作用UI でユーザー用紙の設定をしている場合は、[用紙種類] で、設定したユーザー用紙の名称を選択してください。

6d 参照

各項目の詳細は、「用紙のカスタム設定」(P.30) を参照してください。

■ 出力用紙サイズ

出力する用紙サイズを選択します。

補足

プリンターの印字範囲を超える用紙サイズを選択したときは、1ページ分のイメージが用紙2枚に分割されてプリントされます。

6d 参照

用紙サイズ管理については、『サーバー設定編』の「5.9 用紙サイズ管理」を参照してください。

■ 幅、長さ

[*カスタムサイズ] を選択したときは、用紙サイズを入力します。

補足

プリンターで使用可能な範囲のサイズを入力してください。

■ 拡大/縮小

用紙サイズに合わせた拡大/縮小の方法を選択します。

【倍率を指定する】を選択したときは、倍率を入力します。

補足

ファイルを縮小してプリントすると、ファイルの余白部分にあるデータが正しくプリントされないことがあります。

■ プリント位置

イメージのプリント位置を選択します。

■ 用紙のカスタム設定

【給紙方法】で【カスタム】を選択し、【設定】をクリックしたときに表示されます。



用紙のカスタム設定

用紙サイズ: 原稿サイズと同じ (98.0 - 330.2)

コート: 非コート

幅(mm): 297.0 (98.0 - 330.2)

長さ(mm): 210.0 (146.0 - 1,200.0)

パンチ穴: なし

プレプリント紙: ☐

用紙種類: 普通紙

名前:

1組の枚数: 2 (2 - 255)

用紙色: 白

名前:

用紙坪量(g/m²): 90 (52 - 400)

キャンセル(C) OK

補足

手差しトレイで厚紙やコート紙などを使用する場合は、【用紙種類】、【用紙坪量】、【用紙色】の設定が正しいことを、必ず確認してください。

正しく設定されていない場合、定着不良や汚れが発生する可能性があります。

■ 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

■ 幅、長さ

【*カスタムサイズ】を選択したときは、用紙サイズを入力します。

■ 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。

■ 名前

【カスタム】を選択したときは、用紙名を63文字以内で入力します。

■ 1組の枚数

【1組の用紙（普通紙）】、【1組の用紙（エンボス紙）】、【1組の用紙（再生紙）】、【インデックス紙（普通紙）】、【インデックス紙（エンボス紙）】、または【インデックス紙（再生紙）】を選択したときは、1組の枚数を入力します。

■ 用紙色

用紙の色を選択します。

■ 名前

〔カスタム〕を選択したときは、用紙名を63文字以内で入力します。

■ 用紙坪量

用紙の坪量を設定します。

〔用紙種類〕が〔OHPフィルム〕、〔タック紙〕、〔カスタム〕以外のときに設定できます。

■ コート

用紙のコートの種類を選択します。

■ パンチ穴

用紙のパンチ穴数を選択します



オプション装置のフィニッシャーを装着している場合にだけ、パンチができます。

■ プレプリント紙

チェックを付けると、プリント済みの用紙として設定されます。

4.1 挿入



■ ジョブの先頭に挿入

チェックを付けると、ジョブの先頭に用紙が挿入されます。

■ ジョブの最後に挿入

チェックを付けると、ジョブの最後に用紙が挿入されます。

■ 給紙方法

挿入用の用紙トレイを選択します。

68 参照

〔給紙方法〕については、〔4 用紙〕(P.28)を参照してください。

■ 指定単位（部/レコード）ごとに挿入

チェックを付けると、用紙が挿入されてプリントされます。

■ 単位（部/レコード）

ジョブを複数プリントするときに、用紙を挿入するタイミングを入力します。

〔出力〕で〔ソートする（一部ごと）〕にチェックを付けると、設定した部数がプリントされるごとに用紙が挿入されます。チェックを外すと、ページの切り替わりで用紙が挿入されます。

補足

〔出力〕で〔ソートする（一部ごと）〕にチェック付けずに、〔二つ折り〕を指定した場合は、設定した部数分、挿入用の用紙が出力されます。

■ 位置

用紙を挿入する位置を選択します。ジョブの〔前〕、または〔後〕を選択します。

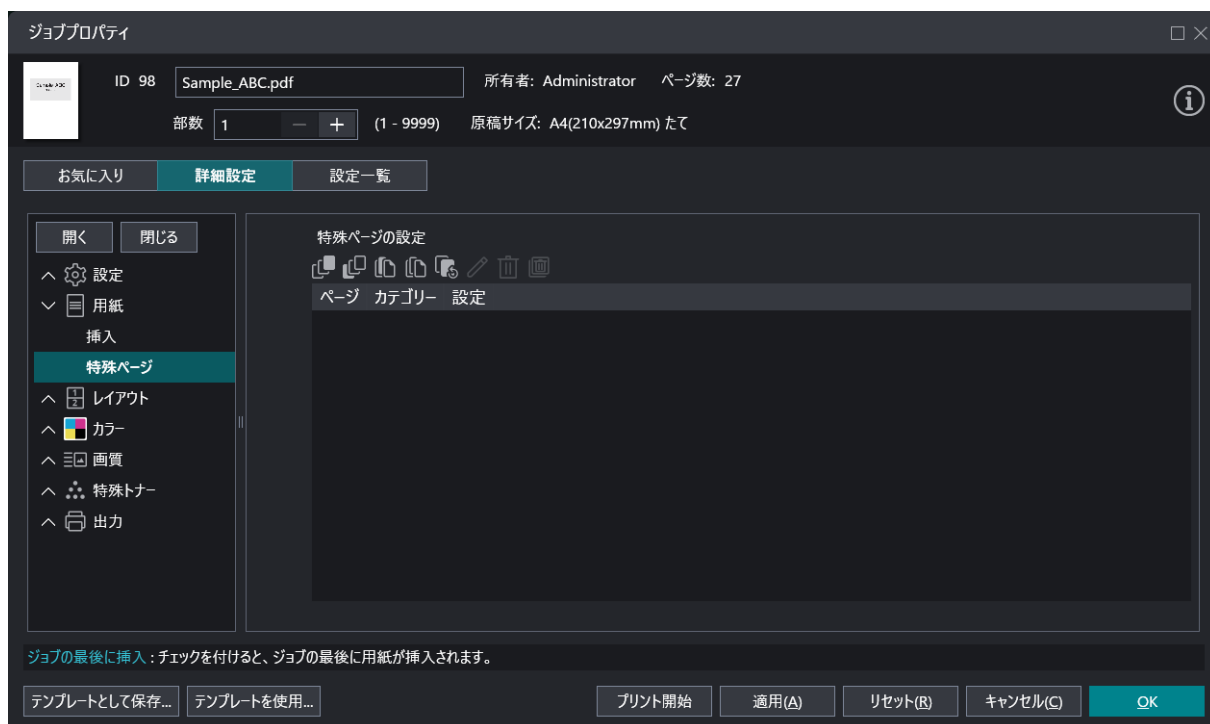
■ 給紙方法

挿入用の用紙トレイを選択します。

68 参照

〔給紙方法〕については、〔4 用紙〕(P.28)を参照してください。

4.2 特殊ページ



補足

作成できる合紙と例外ページの数、合わせて、最大999個です。

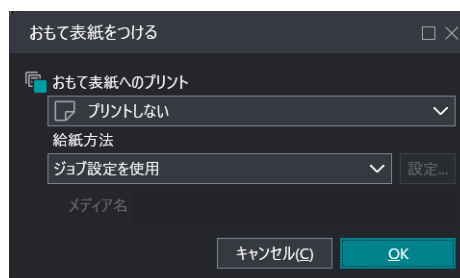
■ 特殊ページの設定

設定する特殊ページのアイコンをクリックします。

-  **(おもて表紙の追加)**
おもて表紙を追加します。
-  **(うら表紙の追加)**
うら表紙を追加します。
-  **(合紙の追加)**
合紙を追加します。
-  **(例外の追加)**
例外ページを追加します。
-  **(繰り返し)**
合紙と例外ページの繰り返しの設定をします。
-  **(編集)**
選択した特殊ページを、追加の場合と同じ手順で編集します。
-  **(削除)**
選択した特殊ページを削除します。
-  **(すべて削除)**
追加した特殊ページをすべて削除します。

■ おもて表紙をつける

 (おもて表紙の追加) をクリックします。



- **おもて表紙へのプリント**
 - **プリントしない**
表紙用の用紙には、ジョブがプリントされません。
 - **内側にプリントする**
表紙用の用紙のおもて面には何もプリントされず、うら面にジョブの最初のページがプリントされます。
 - **外側にプリントする**
表紙用の用紙のおもて面にジョブの最初のページがプリントされ、うら面には何もプリントされません。
 - **両面にプリントする**
表紙用の用紙の両面にジョブの最初の2ページがプリントされます。
- **給紙方法**
おもて表紙用の用紙に使用する用紙トレイを選択します。

補足

[手差しトレイ] を選択したときは、用紙サイズはジョブの先頭ページの設定を使用します。

[ジョブ設定を使用] を選択すると、ジョブに設定されているトレイが使用されます。

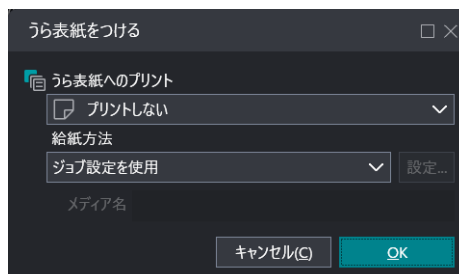
6d 参照

[給紙方法] については、「4 用紙」(P.28) を参照してください。

■ うら表紙をつける



(うら表紙の追加) をクリックします。



■ うら表紙へのプリント

■ プリントしない

うら表紙用の用紙には、ジョブがプリントされません。

■ 内側にプリントする

うら表紙用の用紙のおもて面にジョブの最後のページがプリントされ、うら面には何もプリントされません。

■ 外側にプリントする

うら表紙用の用紙のおもて面には何もプリントされず、うら面にジョブの最後のページがプリントされます。

■ 両面にプリントする

うら表紙用の用紙の両面にジョブの最後の2ページがプリントされます。

■ 給紙方法

うら表紙用の用紙に使用する用紙トレイを選択します。

[ジョブ設定を使用] を選択すると、ジョブに設定されているトレイが使用されます。

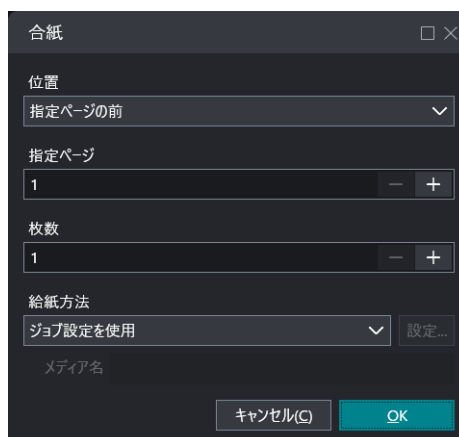
6d 参照

[給紙方法] については、「4 用紙」(P.28) を参照してください。

■ 合紙



(合紙の追加) をクリックします。



■ 位置

合紙を挿入する位置を選択します。

■ 指定ページ

合紙を挿入するページを入力します。

■ 枚数

合紙を挿入する枚数を入力します。入力範囲は、1～9999です。

■ 給紙方法

合紙用の用紙に使用する用紙トレイを選択します。

[ジョブ設定を使用] を選択すると、ジョブに設定されているトレイが使用されます。

68 参照

[給紙方法] については、「4 用紙」(P.28) を参照してください。

■ 例外ページ

 (例外の追加) をクリックします。



例外ページ

ページ範囲
ページを指定
ページ番号かページ範囲を入力してください。カンマで区切ることで複数指定できます。
例) 3, 10, 20-25, -5

給紙方法
ジョブ設定を使用

メディア名

両面

カラーモード

プリント位置の調整

おもて面	うら面
Y方向(mm) 0.00	Y方向(mm) 0.00 (-244.00 - 244.00)
X方向(mm) 0.00	X方向(mm) 0.00 (-244.00 - 244.00)
Y方向倍率(%) 100.0	Y方向倍率(%) 100.0 (50.0 - 150.0)
X方向倍率(%) 100.0	X方向倍率(%) 100.0 (50.0 - 150.0)

■ ページ範囲

例外ページとして扱うページを入力します。

ページの区切りはカンマ「,」で、連続したページはハイフン「-」で入力します。「-5」は「1ページから5ページまで」、「5-」は「5ページ以降」です。

奇数/偶数ページの選択もできます。

■ 給紙方法

例外ページ用の用紙に使用する用紙トレイを選択します。

[ジョブ設定を使用] を選択すると、ジョブに設定されているトレイが使用されます。

68 参照

[給紙方法] については、「4 用紙」(P.28) を参照してください。

■ 両面

両面プリントの方法を選択します。

〔ジョブ設定を使用〕を選択すると、ジョブの設定が使用されます。

■ カラーモード

カラーモードを選択します。



〔グレースケール〕が設定されたページは、特殊トナーの設定は無視され、グレースケールモードで処理されます。

■ プリント位置の調整

プリント位置の基準を選択します。

〔ジョブ設定を使用〕を選択すると、ジョブの設定が使用されます。

■ おもて面、うら面

〔用紙基準〕、または〔原稿基準〕を選択したときは、おもて面とうら面のプリント位置を入力します。



横向き原稿の場合、おもて面の移動方向が、異なる結果になることがあります。

■ 繰り返し



（繰り返し）をクリックします。

■ 先頭からのページ数

入力したページ数ごとに、合紙の追加、または例外ページの設定が繰り返されます。